

お買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。この説明書は、必ず保管してください。

## もくじ

安全上のご注意	P.1	■設置方法	P.5
■輸送上のご注意	P.1	■連結方法	P.5
■吊上げ時のご注意	P.1	■外装・内装パネルの着脱方法	P.6
■施工上のご注意	P.2	■マウントアングルの移動方法	P.8
■使用上のご注意	P.2	■側板組替仕様	P.9
■コンセントバー使用時のご注意	P.3	■各種オプションの取付方法	P.10
■各部の名称・仕様	P.4		

## 安全上のご注意

安全にお使いいただくための注意事項を説明しています。必ずお守りください。なお、有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。

	<b>警告</b>	死亡または重傷を招くおそれがある危険な状況を示します。
	<b>注意</b>	軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害の発生するおそれがある場合を示します。

お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。

- 注意する
- してはいけない
- 必ず守る

## ■輸送上のご注意

注意	
	ラック内に機器を搭載した状態での輸送はしないでください。ラックおよび機器が破損するおそれがあります。
	本製品をベルトなどで荷台に固定する場合は、締め過ぎないでください。特に締め過ぎを認識できないレバーロックなどの荷締器具は使用しないでください。締め過ぎにより、ドアの変形や蝶番部の破損の原因になります。

## ■吊上げ時のご注意

警告	
	本製品を連結した状態で吊り上げしないでください。落下・破損・変形の原因になります。 
	必ず4か所で吊り上げ、45°以上の角度で均一な荷重にしてください。2か所での吊り上げや45°未満の角度での吊り上げは、落下・破損・変形の原因になります。 
	吊り上げ可能質量を超えないようにしてください。落下・破損・変形の原因になります。吊り上げ可能質量：900kg（製品質量を含む）（製品質量はカタログを参照）

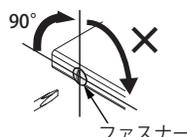
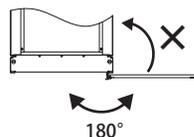
## ■施工上のご注意

 <b>警告</b>			
 アースせよ	アース端子を利用して、アース接続を必ず行ってください。感電の原因になります。		連結を行う際など脚立に乗って作業する場合は、足元が安定していることを確認してください。転倒・落下によるけがの原因になります。
	設置・連結を行う際は、必ず2人以上で作業してください。けがの原因になります。		電気工事（取付・施工）は有資格者が行ってください。故障・感電・けがの原因になります。
	アンカーボルトは必ず M16 を使用してください。地震などで転倒・破損の原因になります。		電気工事は「電気設備技術基準」および「内線規程」を厳守してください。故障・感電・けがの原因になります。
			配線は適切な電線・圧着端子および圧着工具を使用してください。発熱・火災のおそれがあります。

 <b>注意</b>	
	ラック本体が水平に設置できるように、レベル調整を行ってください。ドアの開閉や機器の搭載に支障をきたすおそれがあります。

## ■使用上のご注意

 <b>警告</b>			
	機器をスライドレールなどにより引き出す際は、2段以上同時に引き出さないでください。転倒・破損・変形の原因になります。		重量物を搭載する際は、2人以上で作業してください。また、適切な保護具を着用してください。けがの原因になります。
	マウントアングルの移動の際は、配線を挟み込まないでください。感電・火災の原因になります。		側板の着脱を行う際は、必ず2人以上で作業を行ってください。けがの原因になります。
	重量物は低い位置に設置し、重心位置を低くしてください。重量物をスライドレールなどにより引き出した場合、転倒・破損・変形の原因になります。		マウントアングルの移動の際は、必ず2人以上で作業を行ってください。けがの原因になります。
			保守・点検は専門知識を有する人が定期的に行ってください。故障・感電・けがの原因になります。

 <b>注意</b>			
 指に注意	ドアの着脱を行う際は、ドアとラック本体の間に指を挟まないよう注意してください。けがの原因になります。		本製品を横倒しの状態で機器を搭載しないでください。また、機器を搭載した状態でラックを横倒しにしないでください。ラックの変形・機器の破損の原因になります。
	機器をスライドレールなどにより引き出したり、収納したりする際は、機器とフレームの間に指を挟まないよう注意してください。けがの原因になります。		台板取付用ファスナーは90°以上回さないでください。破損の原因になります。 
 分解禁止	フレームを分解しないでください。ドアの開閉や機器の搭載に支障をきたすおそれがあります。		ドアの開閉角度は約180°です。ドアを開けた状態で、矢印方向にさらに荷重を掛けないでください。ドアおよび蝶番部の変形・破損の原因になります。 
	次のような場所では使用しないでください。故障の原因になります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・高温、高湿となる場所</li> <li>・腐食性ガスのある場所</li> <li>・振動、衝撃のある場所</li> <li>・可燃性ガスのある場所</li> <li>・塵埃やオイルミストが多い場所</li> <li>・ノイズ(電界・磁界)の強い場所</li> <li>・水滴のかかる場所</li> <li>・導電性粉塵(カーボン繊維・金属粉など)のある場所</li> </ul>		ハンドルシリンダーにキーを差した状態で、キーに強い衝撃や荷重を掛けないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。
	本製品に落下などの強い衝撃を与えないでください。衝撃により破損・へこみ・歪みが発生し、強度低下の原因になります。		シリンダーにキーを抜き差ししながら回転動作は行わないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。
	天井面へは局部的な荷重をかけないでください。天井面に配線など載せる場合は、質量が15kg以下としてください。変形の原因になります。		シリンダーの施錠・解錠位置以外では、キーを無理に引き抜かないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。
	ブラインドベースに機器や物を載せたり、人が乗ったりしないでください。変形・破損の原因になります。		マウントアングルの移動の際は、一時的に取り外したマウントアングルを、壁などに立て掛けないでください。転倒・けがの原因になります。

## ⚠ 注意

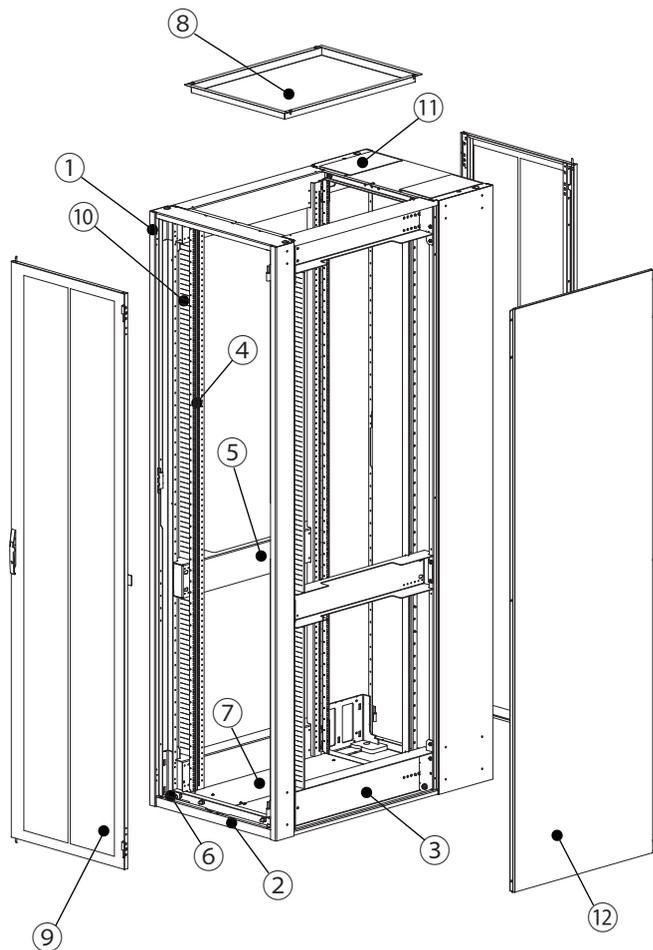
<p>使用するねじやボルトは、指定されたものを使用してください。取り付けの際は、適正締付トルクにて締め付けてください。締め付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。また、締め付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">ねじの呼び</th> <th style="text-align: center;">適正締付トルク N・m※</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">M3</td> <td style="text-align: center;">0.5 ~ 0.8</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">M4</td> <td style="text-align: center;">1.5 ~ 2.0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">皿ばねワッシャー付ナット M5</td> <td style="text-align: center;">1.5 ~ 2.0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">M5</td> <td style="text-align: center;">2.9 ~ 3.9</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">M6</td> <td style="text-align: center;">3.9 ~ 4.9</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">M10</td> <td style="text-align: center;">19.6 ~ 29.4</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">M16</td> <td style="text-align: center;">50.0 ~ 59.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ただし、S タイプねじにおいて締め付け時の初期トルクはこの限りではありません。</p> <p>機器を前面もしくは背面のマウントアングルのみで固定する場合は、機器の質量が 1U あたり 5kg 以下としてください。5kg を超える場合は L 型レール【RD65】などを併用して、固定してください。 ※機器の質量が 5kg 以下であっても形状（奥寸法）や重心位置、施工時の取り扱いなどによって機器後部が下がる場合があります。</p>	ねじの呼び	適正締付トルク N・m※	M3	0.5 ~ 0.8	M4	1.5 ~ 2.0	皿ばねワッシャー付ナット M5	1.5 ~ 2.0	M5	2.9 ~ 3.9	M6	3.9 ~ 4.9	M10	19.6 ~ 29.4	M16	50.0 ~ 59.8	<p>搭載した機器は、必ず固定してください。地震などで機器の落下・破損の原因になります。</p> <p>ハンドルの施錠・解錠する頻度が多い場合は、キー・シリンダーに定期的に鍵用潤滑剤を塗布してください。キーの抜き差しが硬くなるおそれがあります。 ・潤滑剤を使用しない場合の施解錠寿命は、約 1 万回です。 ・キー・シリンダーの磨耗により交換が必要な場合は、別途ご用命ください。</p> <p>ドアの着脱を行う際は、ドア上下の蝶番ピンが確実に差し込まれていることを確認してください。ドアの脱落・破損の原因になります。</p> <p>連結して使用する場合は、隣接するラックにドアが接触しないように手を添えて開閉してください。勢いよく開けると隣接するラックに接触して、ドア・ハンドル・キーの変形・破損の原因になります。</p> <p>マウントアングルの移動の際は、上下左右で同じ位置に取り付けてください。機器の落下・破損・変形の原因になります。</p> <p>天井板の着脱を行う際など脚立に乗って作業する場合は、足元が安定していることを確認してください。転倒・落下によるけがの原因になります。</p>
ねじの呼び	適正締付トルク N・m※																
M3	0.5 ~ 0.8																
M4	1.5 ~ 2.0																
皿ばねワッシャー付ナット M5	1.5 ~ 2.0																
M5	2.9 ~ 3.9																
M6	3.9 ~ 4.9																
M10	19.6 ~ 29.4																
M16	50.0 ~ 59.8																

## ■コンセントバー使用時のご注意

### ⚠ 警告

 分解禁止	<p>分解・改造をしないでください。感電・火災の原因になります。</p>		<p>電源コードまたはケーブルを束ねての使用は避けてください。過熱して火災の原因になります。</p>
 ぬれ手禁止	<p>被覆に傷が付いた状態での使用や、濡れた手でプラグの抜き差しはしないでください。感電の原因になります。</p>		<p>二重三重のたこ足配線はしないでください。プラグが抜けやすくなり、発熱して火災の原因になります。</p> <p>刃の曲がったプラグは使用しないでください。火災の原因になります。</p>
	<p>電源コードまたはケーブルの引張り・はさみ・無理な曲げ・ねじり・傷付け・加工・加熱・重いものを載せるなどしないでください。断線して火災の原因になります。</p>		<p>電源コードまたはケーブル・プラグ・コンセントが破損したままの状態で使用しないでください。感電・火災の原因になります。</p>
	<p>定格電流・定格電圧を超えて使用しないでください。過熱して火災の原因になります。</p>		<p>定期的にプラグの表面や差込部を掃除してください。火災の原因になります。</p>
	<p>プラグの差し込みが浅い状態で使用しないでください。感電・火災の原因になります。</p>		<p>必ずプラグを持ってまっすぐに引き抜いてください。内部の電線が切れて、焼損・火災の原因になります。</p>

## ■各部の名称・仕様



	部品名	材質	板厚 mm	数量
①	フレームタテ	鉄	2.3/1.6※1	4 コ
②	フレームヨコ	〃	〃	4 コ
③	フカサ	〃	2.3	4 コ
④	マウントアングル	〃	〃	4 コ
⑤	側フレーム	〃	〃	2 コ
⑥	コーナー	〃	4.5・16	4 コ
⑦	ブラインドベース	〃	0.8	2 コ
⑧	天井板	〃	〃	1 コ
⑨	ドア	〃	〃	2 コ
⑩	エアシールドシート※2	ゴム	6	4 コ
⑪	ブラインドシート	ポリウレタン	2	2 コ
⑫	側板※3	鉄	0.8	—

※1. FSD110・120の後側のフレームタテ、フレームヨコは1.6mmとなります。

※2. W=599は切込みなし

※3. 側板組替仕様をご選定いただいた場合に適用します。

側板組替仕様は種類や組合わせによって取付位置・数量などを変更する場合があります。

### ●付属品

名称	数量
キー	4 コ
ケージナット用取付工具	1 コ
取扱説明書(本紙)	1 部

### ご注意

- ・側板は標準装備されていません。側板組替仕様を別途ご用命ください。
- ・サーバを搭載する場合は、各サーバによってレールの形状などが異なり、取り付けできない場合があります。
- ・組替仕様・オプション・実装(同送)・特別注文対応により、付属品の数量・種類などを変更する場合があります。
- ・ケージナット【RD751】は付属されていないので、別途ご用命ください。

## ■設置方法

### ⚠警告



アンカーボルトは必ず M16 を使用してください。  
地震などで転倒・破損の原因になります。

### ⚠注意

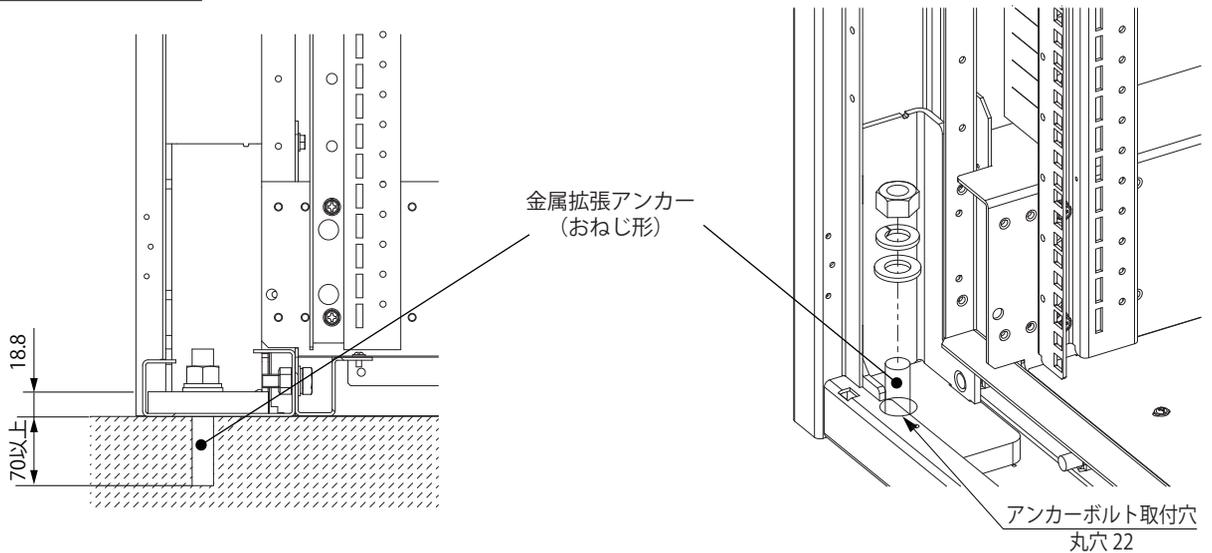


ラック本体が水平に設置できるように、レベル調整を行ってください。  
ドアの開閉や機器の搭載に支障をきたすおそれがあります。

ラック本体底面のアンカーボルト取付用穴(丸穴 22mm 4か所)に、M16 アンカーボルトで床面に固定してください。

ボルト径	最小埋込深さ mm
M16	70

(単位: mm)

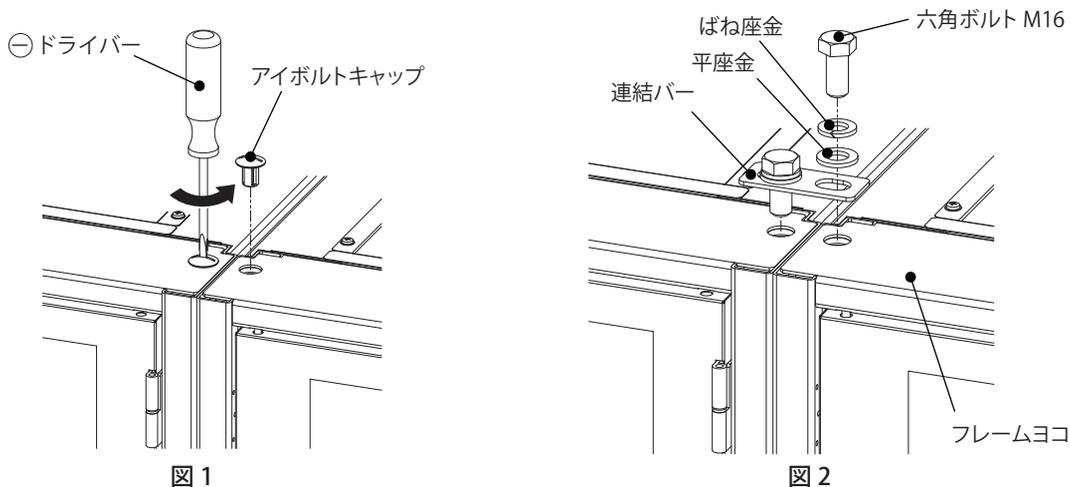


## ■連結方法

### ご注意

天井連結に使用する連結バー、六角ボルト M16、ばね座金、平座金は、付属されていませんので別途ご用意ください。

1. ラックの連結面に隙間がないように設置してください。
2. ラック天面のアイボルトキャップを取り外してください。(連結側のみ)  
アイボルトキャップが手で回らない場合は、⊖ドライバーなどで反時計方向に回して取り外してください。(図1)
3. 前後の連結側に連結バーをフレームヨコの上のせて六角ボルト M16・ばね座金・平座金で締め付けて連結してください。(図2)



### ⚠注意



取り付けの際は、適正締め付トルクにて締め付けてください。締め付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。また、締め付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締め付トルク N・m
M16	50.0 ~ 59.8

## ■外装・内装パネルの着脱方法

機器搭載・配線を行う際は、必要に応じて外装・内装パネルを取り外して作業してください。

### ●ドアの取外方法

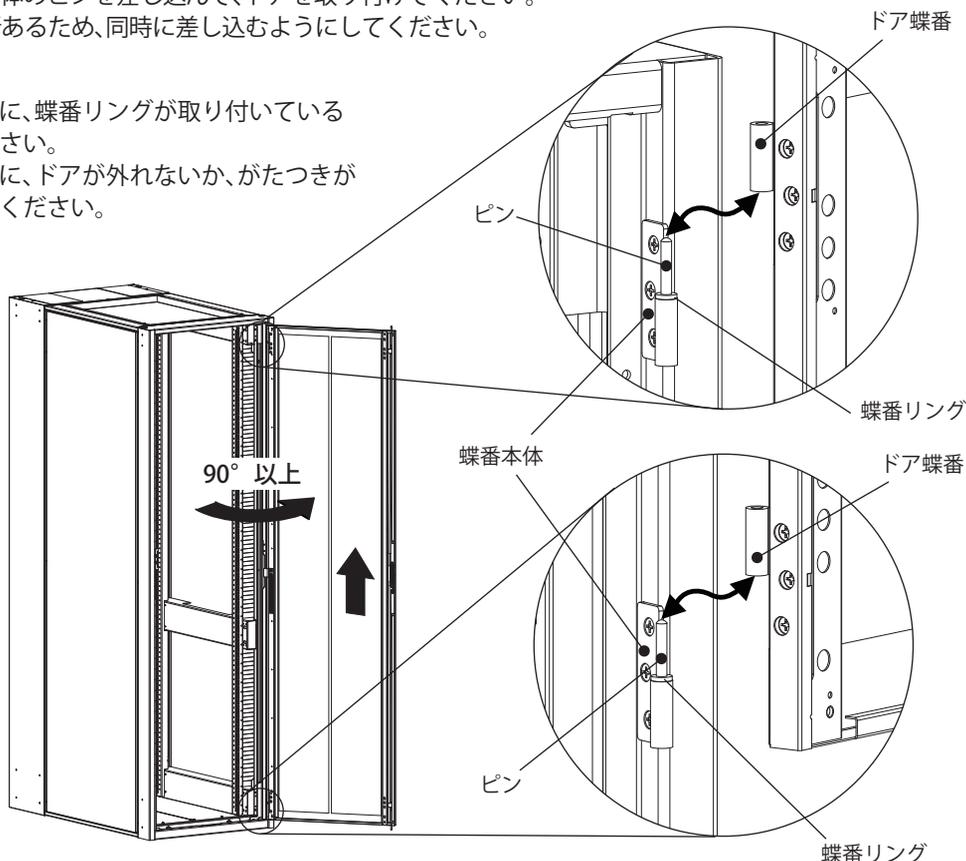
ドアを90°以上開けた状態で、ドア全体を上を持ち上げて、ドアを取り外してください。

### ●ドアの取付方法

ドア蝶番の穴に蝶番本体のピンを差し込んで、ドアを取り付けてください。  
蝶番はドア上下2か所あるため、同時に差し込むようにしてください。

#### 【ご注意】

- ・ドアを取り付ける際に、蝶番リングが取り付けられていることを確認してください。
- ・ドアを取り付けた後に、ドアが外れないか、がたつきがないか必ず確認してください。

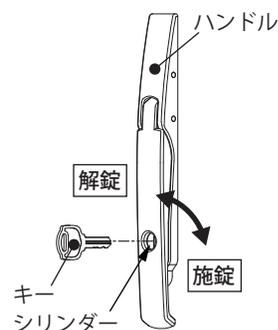


### ●ハンドルの施錠・解錠方法

1. ハンドルのシリンダー部にキーを奥まで差し込んでください。
2. 右回りで施錠、左回りで解錠してください。

#### 【ご注意】

- ・施錠操作後に、確実にロックされていることを確認してください。
- ・キーの抜き差しは、所定の位置でゆっくりと確実に行ってください。  
また、キーを完全に差し込まない状態での回転動作は行わないでください。



## ⚠ 注意

	ハンドルのシリンダーにキーを差した状態で、キーに強い衝撃や荷重を掛けないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。		ハンドルの施錠・解錠する頻度が多い場合は、キー・シリンダーに定期的に鍵用潤滑剤を塗布してください。キーの抜き差しが硬くなるおそれがあります。 ・潤滑剤を使用しない場合の施錠・解錠寿命は、約1万回です。 ・キー・シリンダーの磨耗により交換が必要な場合は、別途ご用命ください。
	シリンダーにキーを抜き差ししながら回転動作は行わないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。		
	シリンダーの施錠・解錠位置以外では、キーを無理に引き抜かないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。		

## ●ブラインドベースの着脱方法

1. ブラインドベースの座付き S タイプタップピンねじ M4(ブラインドベース 1 枚あたり 4 本)を取り外してください。
2. ブラインドベース左右の合わせ目部分を少し持ち上げてスライドして取り外してください。(図 3)
3. 取り付けの際は、中央部のブラインドベース左右の合わせ目に隙間がないように取り付けてください。(図 4)

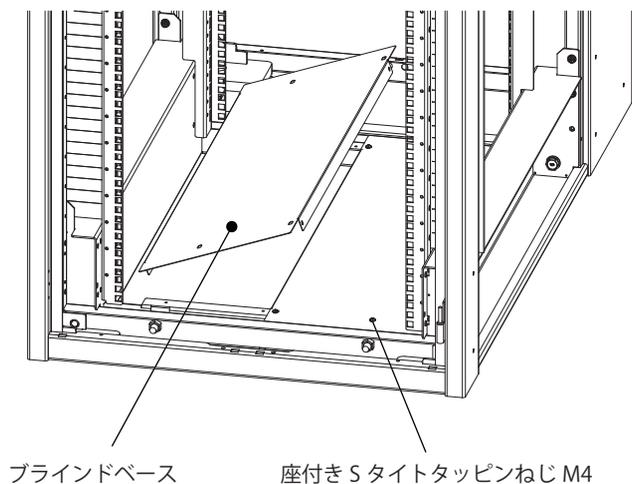


図 3

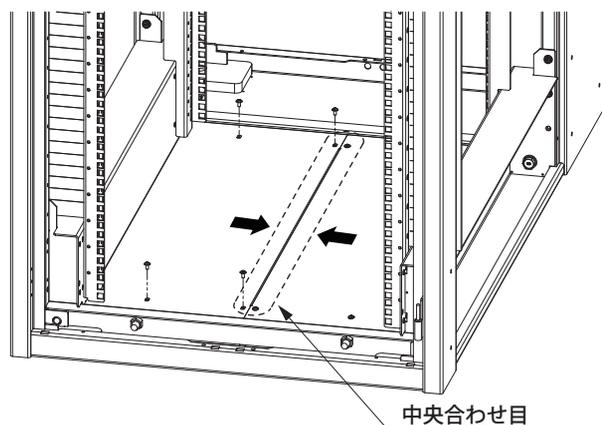


図 4

### ⚠ 注意



取り付けの際は、適正締付トルクにて締め付けてください。締め付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。また、締め付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

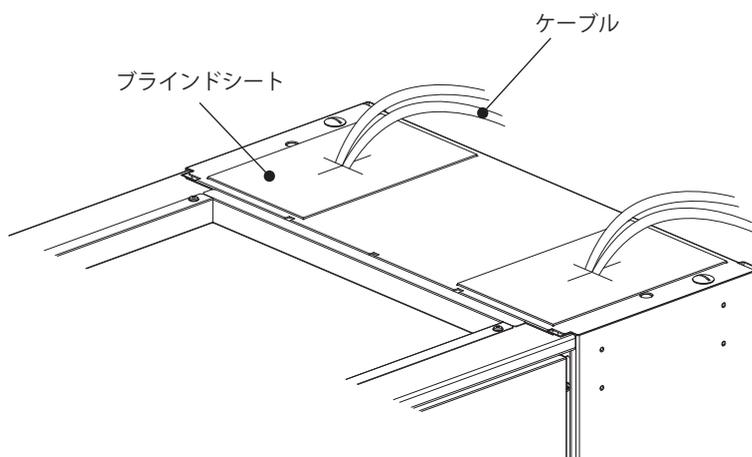
ねじの呼び	適正締付トルク N・m※
M4	1.5 ~ 2.0

※ただし、S タイプねじにおいて締付時の初期トルクはこの限りではありません。

## ●天面からの配線方法

天面のブラインドシートに、切り込みを入れてケーブルを通線してください。

**【ご注意】** ケーブル通線後、ブラインドシートに隙間がないか確認してください。隙間があるとエア漏れの原因となります。

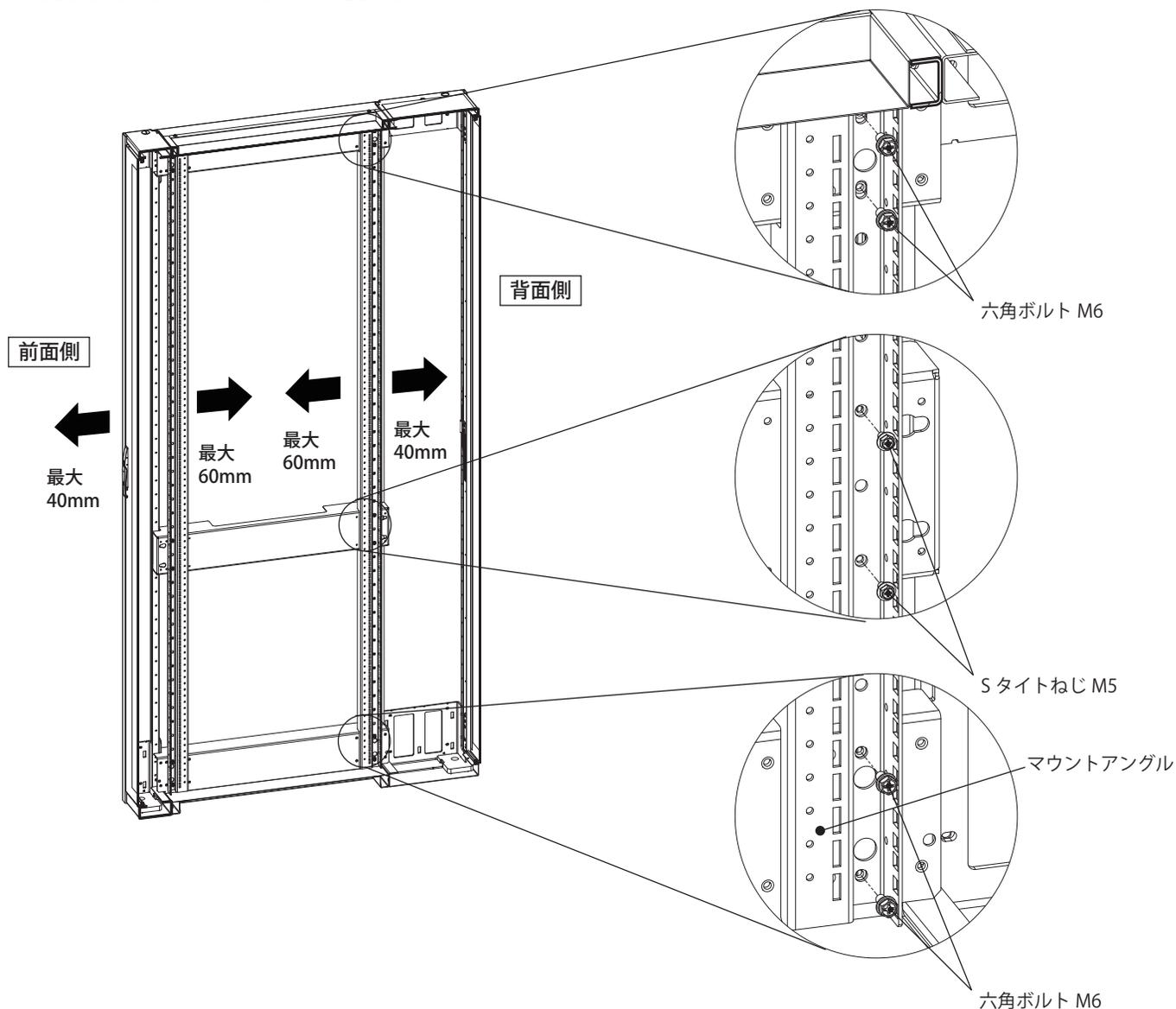


## ■マウントアングルの移動方法

機器の寸法に合わせて、マウントアングルを移動して調整してください。

### ●ケージナット用マウントアングルの移動方法(前後移動ピッチ 20mm)

1. マウントアングルの六角ボルト M6 (4 か所) を取り外してください。
2. マウントアングルの S タイトねじ M5 (2 か所) を取り外して、マウントアングルを移動(前後 20mm ピッチ) してください。
3. 移動後、逆の手順で取り付けてください。



#### ご注意

マウントアングルを移動すると、「表 1」のオプション実装ができない場合があります。

表 1

製品名	品名記号
重量用台板セット	RD151-□SN(K)
スリット付台板セット	RD152-□SN(K)
L型レール	RD65-□PW(K)
重量用 L 型レール	RD651-□PW(K)
ケーブルホルダー	RD87-□SK
ケーブルホルダー(結束テープ付タイプ)	RD87-□TK

## ⚠ 注意

取り付けの際は、適正締付トルクにて締め付けてください。締め付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。また、締め付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

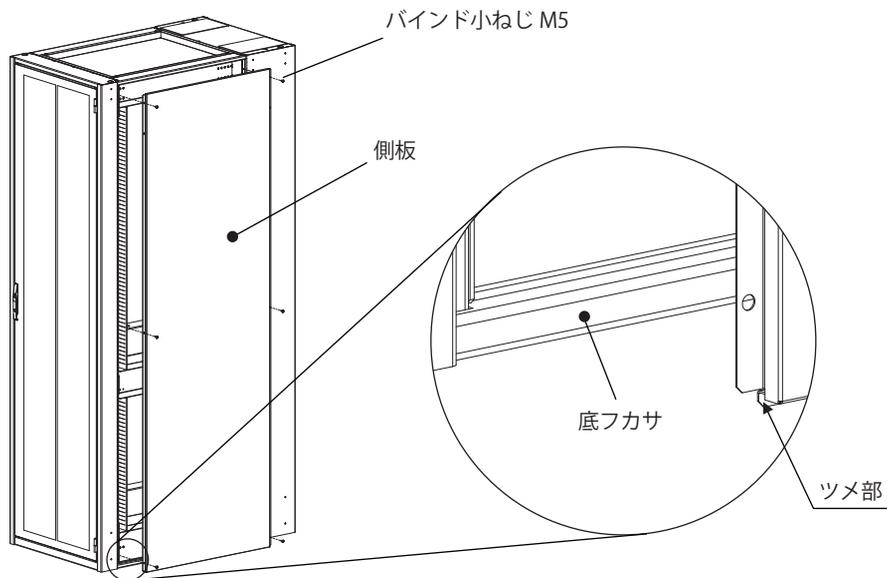
ねじの呼び	適正締付トルク N・m※
M5	2.9 ~ 3.9
M6	3.9 ~ 4.9

※ただし、S タイトねじにおいて締付時の初期トルクはこの限りではありません。

## ■側板組替仕様

### ●側板の着脱方法(側板付タイプ【-SR・-SL】)

1. 側板のバインド小ねじ M5 を取り外してください。
2. 側板全体を手前へ倒し、上へ持ち上げて下部のツメ部を底フカサから抜いて、側板を取り外してください。
3. 取り付けの場合は、逆の手順で行ってください。

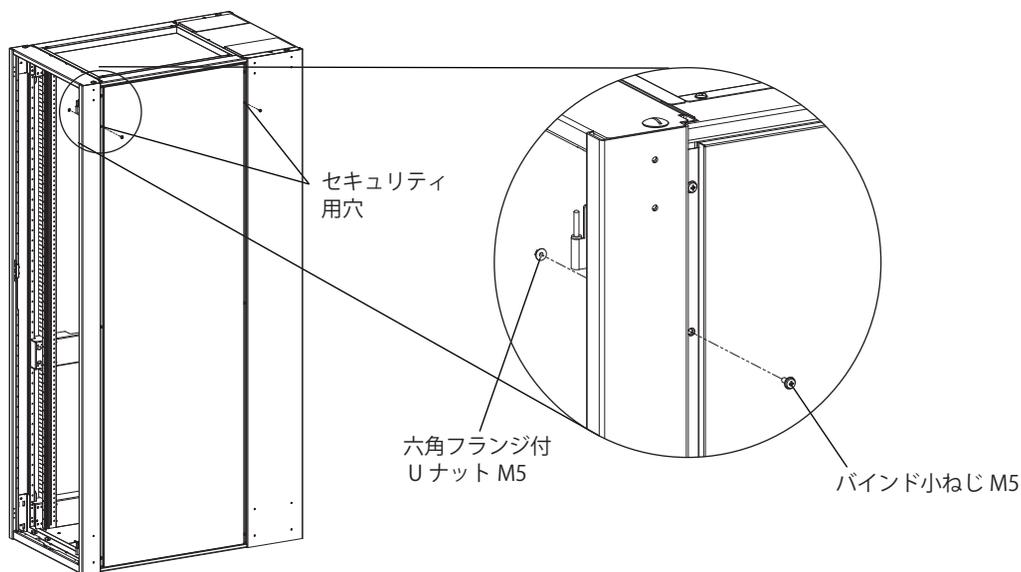


### ●側板のセキュリティ対応方法(外部からの取り外し防止)

側板のセキュリティ用穴(2か所)にラックの外側からバインド小ねじ M5、ラックの内側から六角フランジ U ナット M5 で締め付けてください。

#### ご注意

セキュリティ対応するために使用するバインド小ねじ M5、六角フランジ付 U ナット M5 は付属されていません。別途ご用意ください。



## ⚠ 注意



取り付けの際は、適正締め付トルクにて締め付けてください。締め付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。また、締め付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締め付トルク N・m
M5	2.9 ~ 3.9

## ■各種オプションの取付方法

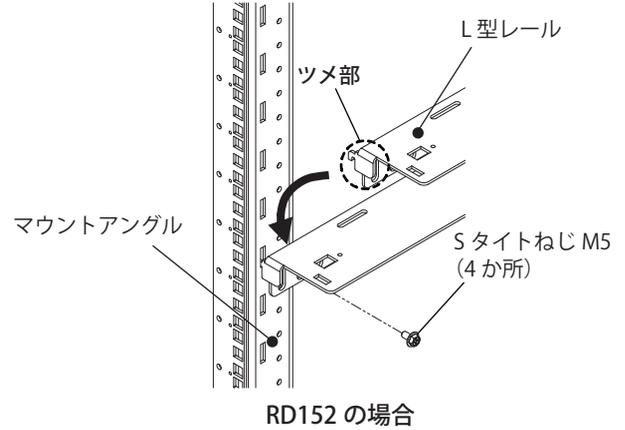
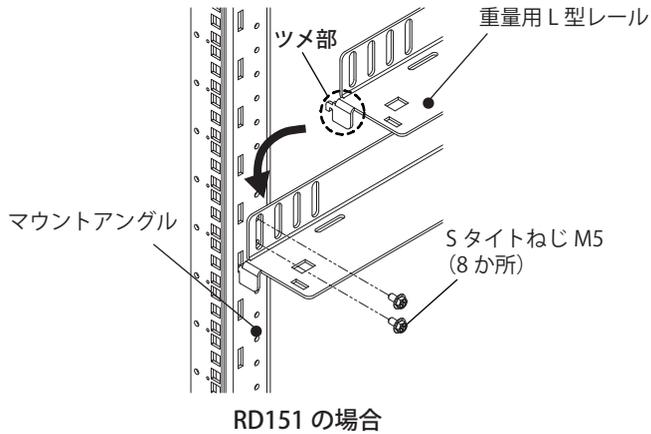
### ●重量用台板セット【RD151-70SN(K)】・スリット付台板セット【RD152-70SN(K)】

#### 1. 重量用 L 型レール・L 型レールの取付

重量用 L 型レール・L 型レールのツメ部をマウントアングル内面の角穴に引掛けて、S タイトねじ M5 にて固定してください。

##### 【ご注意】

- ・前後左右で同じ高さの位置に取り付いているか確認してください。
- ・S タイトねじ M5 は付属されていません。別途ご用意ください。



#### 2. 台板の取付

※図は RD152 を示します。RD151 も同様に取付けてください。

①台板のツメ部を L 型レールの角穴(後側)に差し込んで、位置決めしてください。

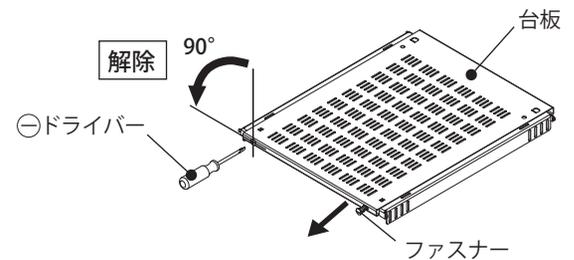
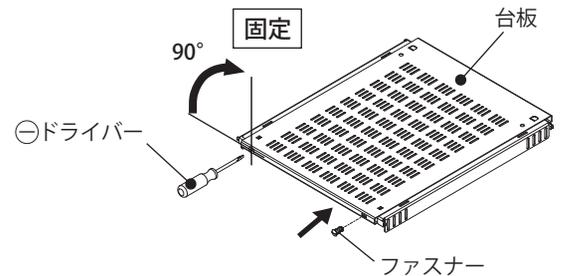
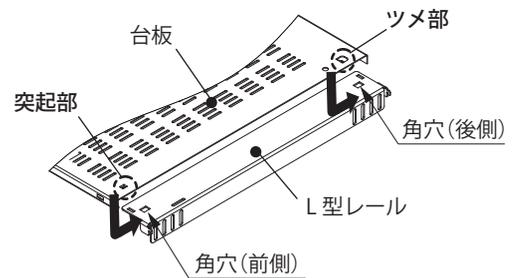
②台板の突起部と L 型レールの角穴(前側)の位置が合うように、台板を置いてください。

③付属のファスナーを台板前面の固定穴に差し込んで、⊖ドライバーなどで右回りに 90° 回して固定してください。

④台板を外す際は、ファスナーを左回りに 90° 回して固定を解除してください。

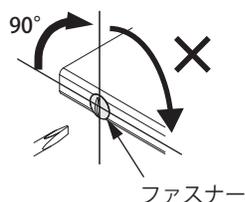
⑤ファスナーを前面に引いた状態で、台板を外してください。

【ご注意】 ファスナーは完全に引き抜かないでください。



### ⚠ 注意

台板取付用ファスナーは 90° 以上回さないでください。破損の原因になります。



取り付けの際は、適正締付トルクにて締め付けてください。締め付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。また、締め付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク N・m※
M5	2.9 ~ 3.9

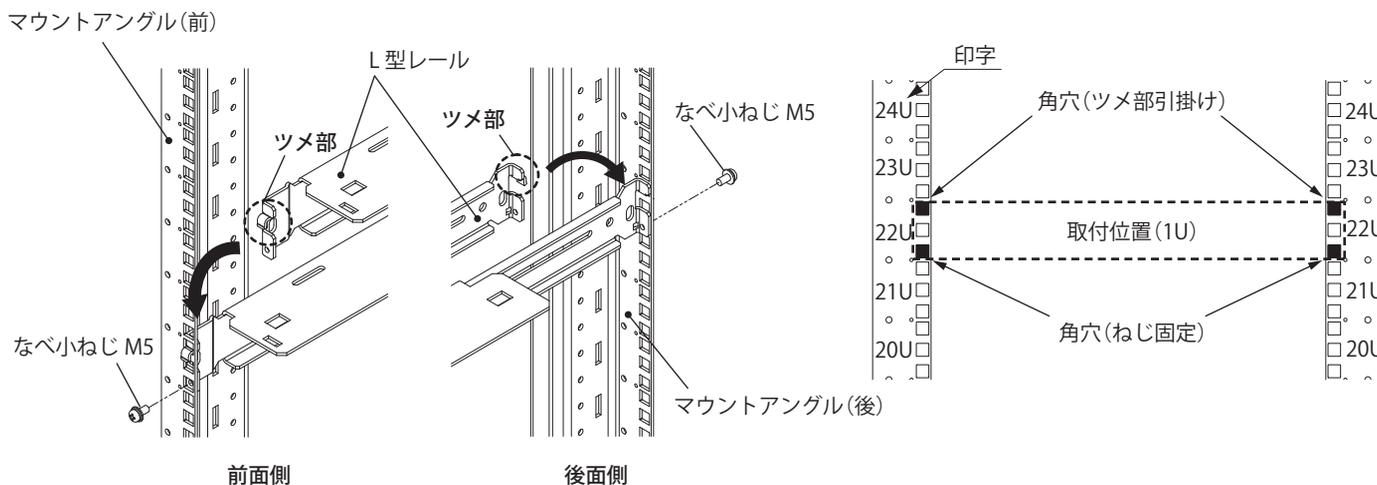
※ただし、S タイトねじにおいて締め付時の初期トルクはこの限りではありません。

# ●スリット付台板セット・前後マウントタイプ【RD153-61ES(K) N】

## 1. L型レールの取付

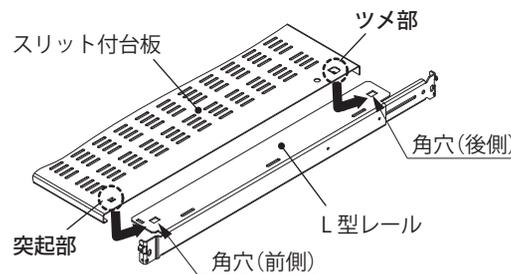
- ①L型レールの長さを前後マウントアングル間のピッチに調整してください。
- ②L型レールのツメ部をマウントアングル(前)・(後)の角穴に引掛け、付属のなべ小ねじ M5 (4か所)にて固定してください。  
使用する角穴の位置は、取付位置(1U)の上側の角穴となります。

**【ご注意】** 前後左右で同じ高さの位置に取り付いているか確認してください。

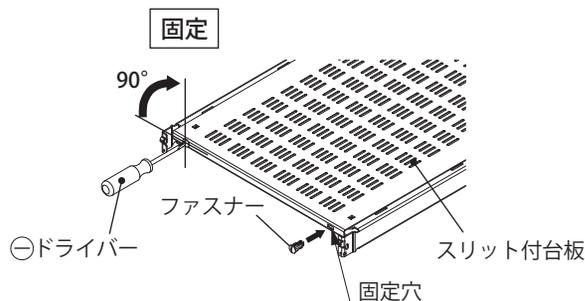


## 2. スリット付台板の取付

- ①スリット付台板のツメ部をL型レールの角穴(後側)に差し込んで位置決めしてください。
- ②スリット付台板の突起部とL型レールの角穴(前側)の位置が合うようにスリット付台板を置いてください。
- ③付属のファスナーをスリット付台板前面の固定穴に差し込んで、  
⊖ドライバーなどで右回りに90°回して固定してください。

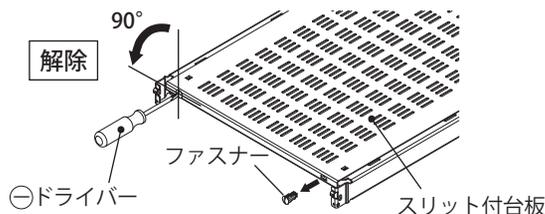


- ④スリット付台板を外す際は、ファスナーを左回りに90°回して固定を解除してください。



- ⑤ファスナーを前面に引いた状態でスリット付台板を外してください。

**【ご注意】** ファスナーは完全には引き抜かないでください。



<b>⚠ 注意</b>						
	<p>台板取付用ファスナーは90°以上回さないでください。破損の原因になります。</p>	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> </div> <p style="text-align: center;">90° ファスナー</p>				
<p>取り付けの際は、適正締め付トルクにて締め付けてください。締め付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。また、締め付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。</p>						
<table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="padding: 2px 5px;">ねじの呼び</th> <th style="padding: 2px 5px;">適正締め付トルク N・m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 2px 5px;">M5</td> <td style="padding: 2px 5px;">2.9 ~ 3.9</td> </tr> </tbody> </table>			ねじの呼び	適正締め付トルク N・m	M5	2.9 ~ 3.9
ねじの呼び	適正締め付トルク N・m					
M5	2.9 ~ 3.9					

# ●スリット付スライド式台板セット・前後マウントタイプ【RD162-51ESK】

## 1. スライドレールの取付

- ①ロックレバーを押し込んでロックを解除して、インナーメンバーをアウターメンバーから取り外してください。(図5)
- ②ブラケットにアウターメンバー、スリット付スライド式台板にインナーメンバーを付属のバインド小ねじ M4 にて固定してください。※図は右側を示します。(図6)

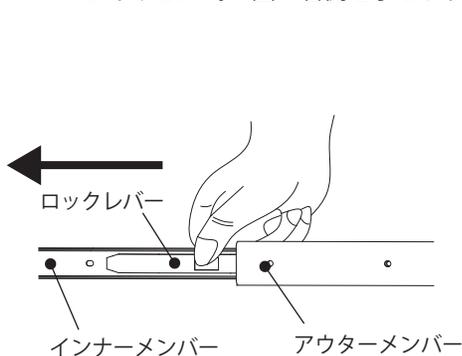


図5

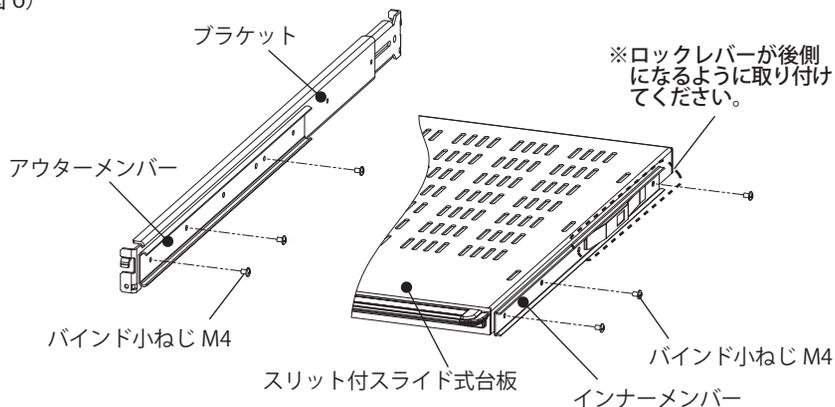


図6

## 2. ブラケットの取付

- ①ブラケットの長さを前後マウントアングル間のピッチに調整してください。
- ②ブラケットのツメ部をマウントアングル(前)・(後)の角穴に引掛け、付属のなべ小ねじ M5 にて固定してください。使用する角穴の位置は、取付位置(1Uの高さ)の上側の角穴となります。(図7)

**ご注意** 前後左右で同じ高さの位置に取り付けているか確認してください。(図8)

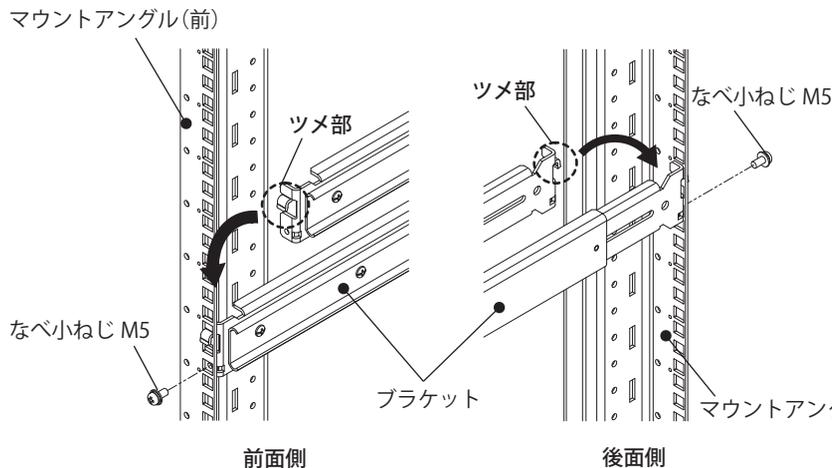


図7

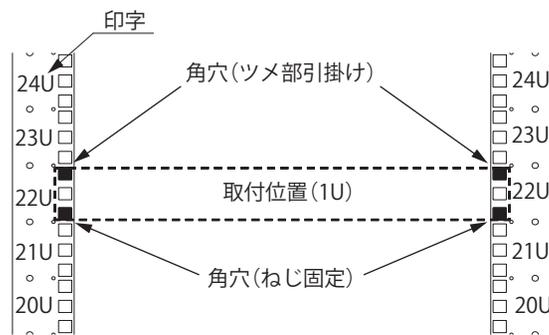


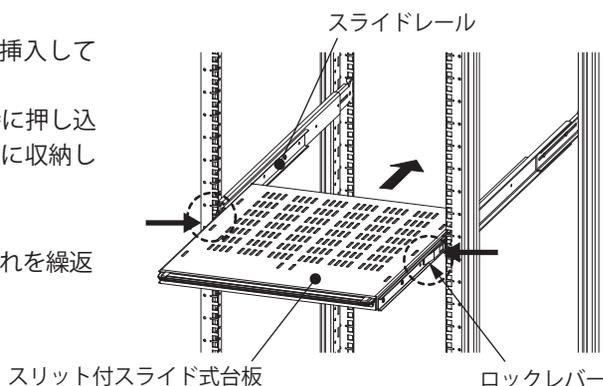
図8

## 3. スリット付スライド式台板の取付

- ①スリット付スライド式台板をブラケットのスライドレールに挿入してください。
- ②スリット付スライド式台板両側にあるロックレバーを左右同時に押し込みながら、スリット付スライド式台板をロックが掛かるまで奥に収納してください。

**ご注意**

最初の挿入時は動きが硬く感じる場合があります。数回の出し入れを繰り返しながら徐々に押し込んでください。



### ⚠ 注意

取り付けの際は、適正締め付トルクにて締め付けてください。締め付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。また、締め付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

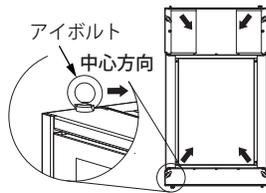
ねじの呼び	適正締め付トルク N・m
M4	1.5 ~ 2.0
M5	2.9 ~ 3.9

## ●アイボルト【RD71-16】

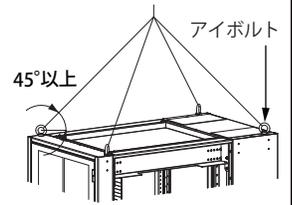
### 警告



本製品を吊り上げる場合は、アイボルト【RD71-16】を使用し、吊り上げ中心方向に向けて固定してください。落下・破損・変形の原因になります。

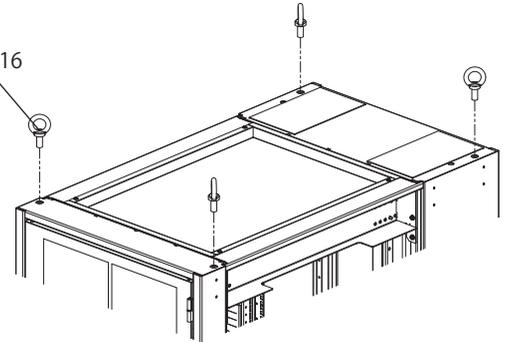


必ず4か所で吊り上げ、45°以上の角度で均一な荷重にしてください。2か所での吊り上げや45°未満の角度での吊り上げは、落下・破損・変形の原因になります。



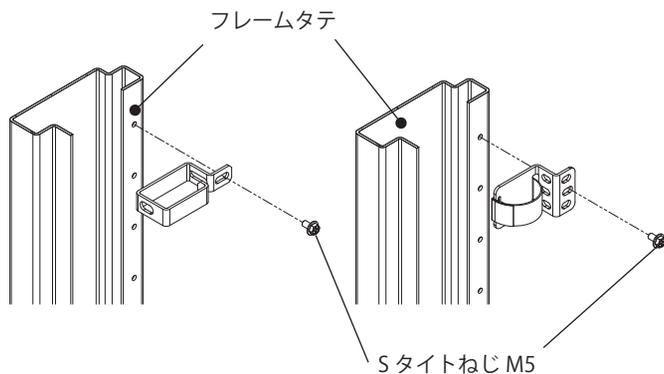
天面の4コーナーにあるアイボルトキャップを取り外し、アイボルト M16 を取り付けてください。

アイボルト M16



## ●ケーブルホルダー【RD87】

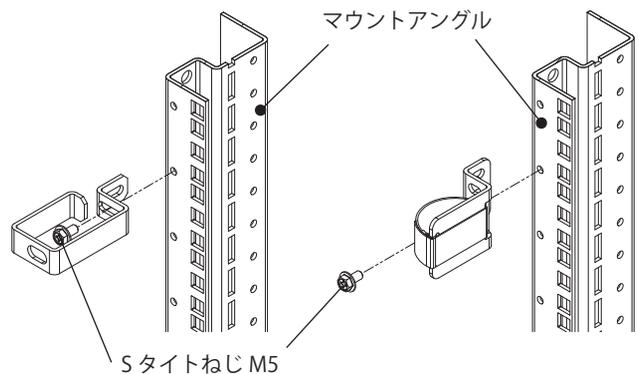
フレームタテ、マウントアングルの取付穴(φ4.6)に合わせて、付属のSタイトねじ M5 で固定してください。



RD87-1SK

RD87-1TK

フレームタテへの取付例



RD87-1SK

RD87-1TK

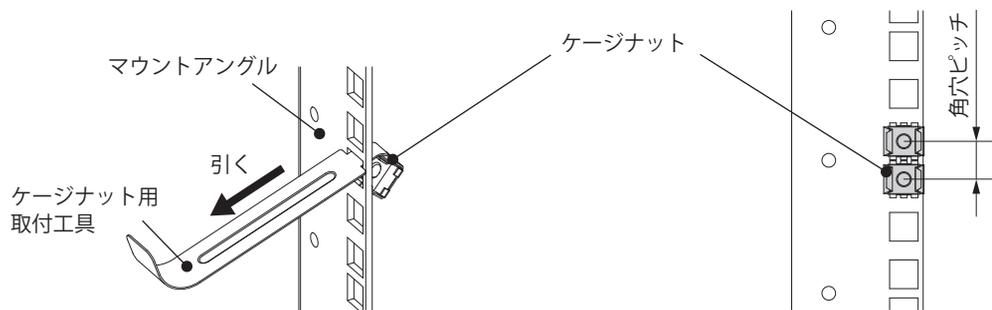
マウントアングルへの取付例

## ●ケージナット【RD751】

1. ケージナットのばねの一方をマウントアングルの角穴に引掛けてください。
2. ラックに付属のケージナット用取付工具または、⊖ドライバーなどでもう一方のばねに引掛けて、手前に引いて角穴に入れてください。

### ご注意

角穴ピッチが小さくケージナット同士が干渉し取り付けづらい場合は、ケージナットを90°回転させヨコ向きにして取り付けてください。



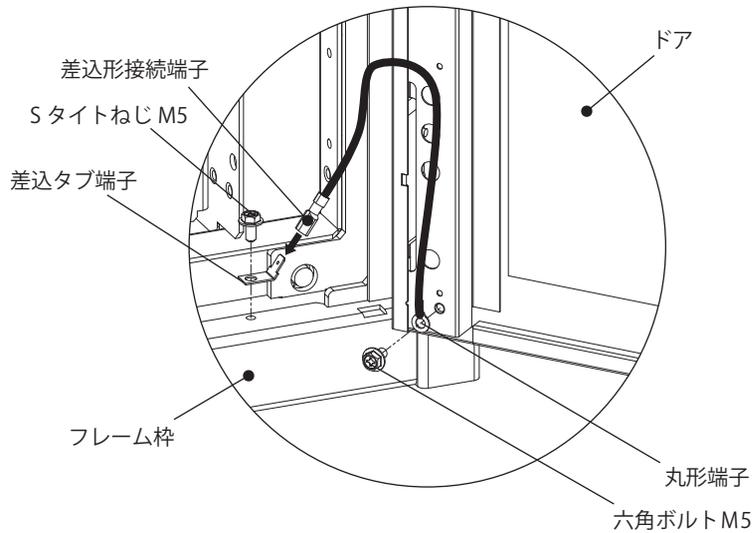
ケージナット(タテ向き)取付例

ヨコ向き取付例

## ●アース線【RD891-20C】

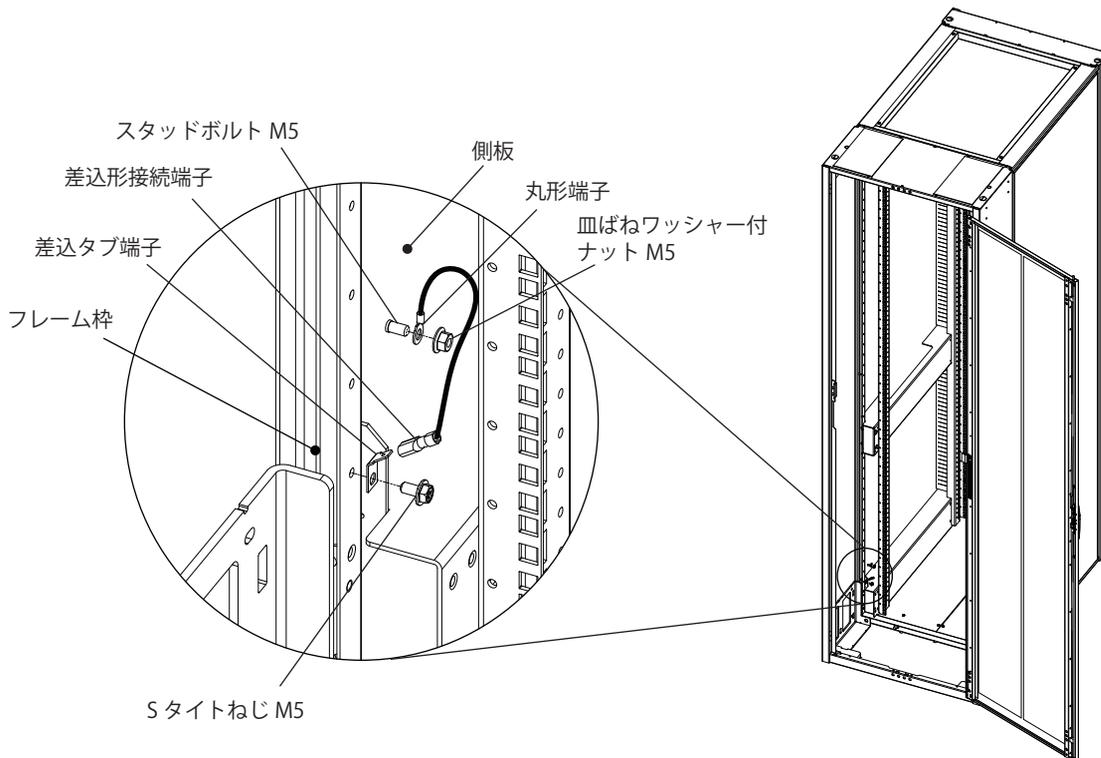
### 《ドアへの取付方法》

1. ラック本体のフレーム枠の取付穴(φ4.6)へ、差込タブ端子を付属のS タイプねじ M5 で取り付けてください。
2. ドア下部の取付穴(φ4.6)へアース線の丸型端子側を付属のS タイプねじ M5 で取り付けてください。
3. アース線の差込形接続端子を、1. でフレームに取り付けた差込タブ端子に接続してください。



### 《側板への取付方法》

1. ラック本体のフレーム枠の取付穴(φ4.6)へ、差込タブ端子を付属のS タイプねじ M5 で取り付けてください。
2. 側板(下側)のスタッドボルト M5 へ、アース線の丸型端子側を付属の皿ばねワッシャー付ナット M5 で取り付けてください。
3. アース線の差込形接続端子を、1. でフレームに取り付けた差込タブ端子に接続してください。



## ⚠ 注意

取り付けの際は、適正締め付トルクにて締め付けてください。締め付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。また、締め付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締め付トルク N・m※
皿ばねワッシャー付ナット M5	1.5 ~ 2.0
M5	2.9 ~ 3.9

※ただし、S タイプねじにおいて締め付時の初期トルクはこの限りではありません。

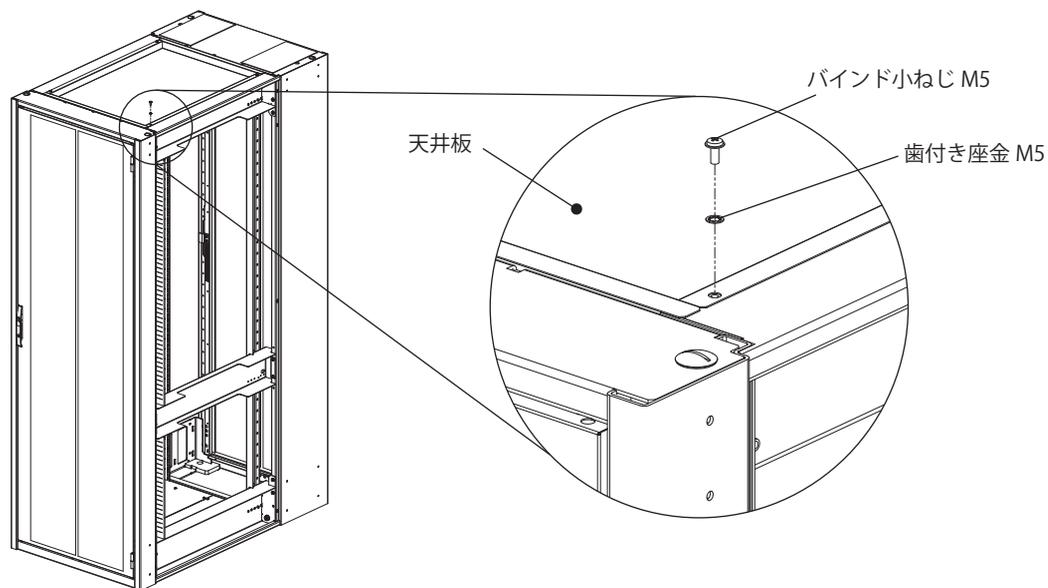


## ●天井板のアース接続方法

### ご注意

アース接続に使用する歯付き座金 M5 は付属されていません。別途ご用意ください。

1. 天井板のバインド小ねじ M5 (1 か所) を取り外してください。
2. 取り外したバインド小ねじ M5 に歯付き座金 M5 を挟んで固定してください。



### ⚠ 注意



取り付けの際は、適正締付トルクにて締め付けてください。締め付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。また、締め付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク N・m
M5	2.9 ~ 3.9

## MEMO

### お問い合わせ先

ご不明な点がございましたら弊社お客様相談室にお問合わせください。

**TEL (0561) 64-0152**

本製品の故障や瑕疵により、当社の予見の有無を問わず生じた二次損害について、当社は一切の責任を負いかねます。  
仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。

2023年5月  
B886406902

**NITTO KOGYO**

©NITTO KOGYO CORPORATION